

発言通告書（総括表）

平成23年 第4回 定例会 代表質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を求める者
1	戸張議員 (自民)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自民党平成 24 年度予算の要望事項 ・ 防災対策の強化 ・ 障害者センターえみふる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区民の安心と安全を支える区政の実現に向けての諸問題 ・ 地域防災計画の改訂について ・ 防災対策を踏まえた、国や東京都との連携について ・ オープンして2年経過しての運営全般について 	区長及び関係理事者
2	はやお議員 (千代田)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 住宅施策について 2. 地域包括ケア施策について 3. 子育て施策について 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 良質な住宅確保に向けて ・ 介護サービスの充実強化について ・ 医療と介護の連携強化について ・ 次世代育成支援について 	区長並びに関係理事者
3	木村議員 (共産)	<ol style="list-style-type: none"> 1. TPP 問題について 2. 「官から民へ」の構造改革について 3. 第 5 期介護保険事業計画について 4. 社会保障制度について 	<p>TPP は、食料の自給率、食の安全、公的医療保険とともに、官公需など自治体のルールにも影響をもたらすことになる。区長の見解は。</p> <p>「官から民へ」は劣悪な労働環境をもたらした。指定管理者が運営する施設、認証保育所など、公的サービスを担う民間労働者の労働環境の改善にむけ、いくつかの提案を行なう。</p> <p>介護保険法の改定にともなう要支援者サービスへの影響、保険料、介護と福祉の連携、介護と医療の連携などについて</p> <p>貧困と格差が広がっている今日、所得の再分配機能をもつ社会保障制度を全面発動すべきとき。国保法 44 条にもとづく一部負担金の減免、区営住宅条例 15 条にもとづく使用料の減免、母子福祉資金貸付などの周知・運用改善が求められている。</p>	区長並びに関係理事者

発言通告書（総括表）

平成23年 第4回 定例会 代表質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を求めめる者
4	山田議員 (公明)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東日本大震災の教訓を活かし ・ 空き家 空き地の適正な管理について 	<p>水害への対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設への避難の対応 ・ 避難建築物の指定 ・ 機械室、電気設備等の防水・浸水対策ほか <p>関連して 自殺の予防について</p> <p>安全・安心の確保の観点から</p>	区長並びに 関係理事者
5	小林た議員 (声)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 中学校選択制の再検討について 2. 九段中等教育学校について 3. 日比谷図書文化館の活用について 	<p>①中学校の学校選択制は、千代田区中学教育検討会報告において、特色ある学校づくりを推進するために平成15年度から実施。その当時より中学校生徒数の推計が平成19年時点で約400人1校分減少しており、近年益々学校間の生徒数の差が開いている。想定が大幅に食い違って偏りが出ている。在来校2校を選択する場合、白か黒かの選択では、地域バランスを欠き、本来の教育活性化等の目的の達成が困難。学区復活の検討をすべきではないか。</p> <p>②2校体制の場合、教育内容に関わらず校舎や設備の更新により生徒数が大きく変動してしまう。新築麴町中学校に希望生徒が殺到しているが現状をどのように捉え、どういう対策が練られているのか。</p> <p>③今後、長期的に麴町中学校に生徒が集中することが予想される。神田一橋中学校は、築30年を経過して、大規模修繕がなされていない。修繕計画は、どうなっているのか。神田一橋中学校のリノベーションを検討しているか、他。</p> <p>①既に2回の卒業生を送り出しているが中等教育学校の目指すものは、達成されているのか。</p> <p>②大学への進学率、進学先、就職等の実績をどう評価しているのか。</p> <p>③前5校体制と現体制の学校経費実績は如何、他。</p> <p>小中学校・中等学校が学校教育の一環として日比谷図書文化館を活用し千代田区の文化・歴史などを学べるように指定管理者と連携がとれているか、他。</p>	区長並びに 関係理事者

発言通告書（総括表）

平成23年 第4回 定例会 代表質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を求める者
	小林た議員 (声)	4. 地域活性化策について 5. (仮称) 東松下町計画について	①出張所の新たな役割についての考えは。 ②エリアマネジメントの必要性について、他。 (仮称) 東松下町計画は、デッドロックになっているが区としての対策は、あるのか、他。	区長並びに 関係理事者
6	小枝議員 (民主)	1. 千代田区における今後のまちづくりルールについて 2. 千代田区発達障がい児支援体制の充実に向けて	1) 景観と都市計画、まちづくりを統合し、建築・開発等の手続き、区民の参加参画手続きも一体化した「まちづくり条例」制定の必要性について区はどう認識しているか。 2) 景観まちづくり条例制定から約13年、景観法に基づく条例となるメリットをどう活かすことができるか。 3) 美観地区や外濠周辺など「景観地区」を指定することで、歴史的まち並保存、誘導に踏み出すべきではないか。 4) 1976年9月警視庁建てかえ時の不文律であった皇居内眺望点からの俯瞰角度(44度)を再検証してはどうか。 1) すぐれたCEOを選任し、専門家集団を確保すべき。 2) 民間機関とどう連携するのか。 3) 施設整備の方針は誰がどのように決めるのか等。	区長並びに 関係理事者